

柱状改良

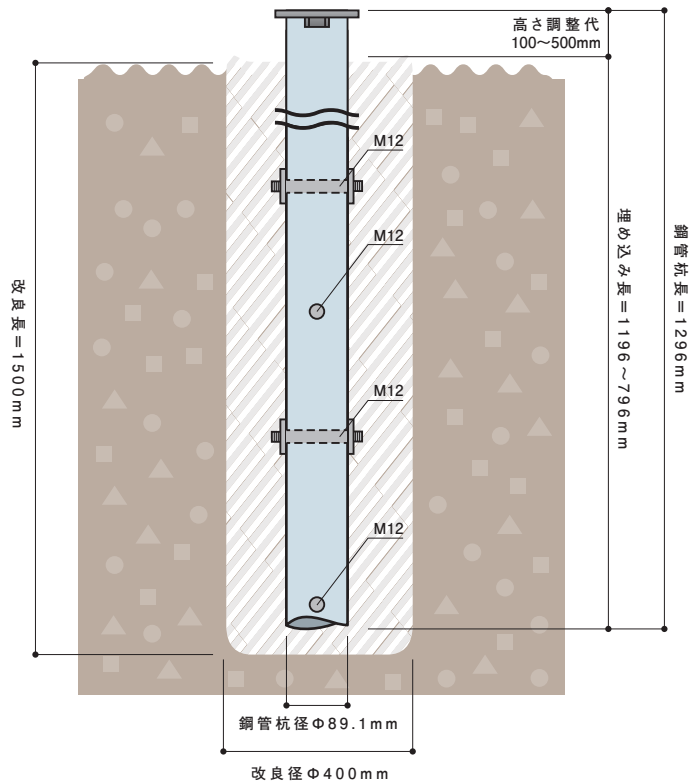
φ400mm×L=1500mm

圧縮強度	500kN/m ²
セメント添加量	300kg/m ³

鋼管基礎杭

φ89.1mm×L=1296mm T=4.2

溶融亜鉛メッキ	HDZ45
天板板	鋼板 T=6.0
ボルト	M12



想定される不安や問題を解決

地盤腐食は大丈夫？

溶融亜鉛メッキ (HDZ45) で地際部分の腐食対策。
1mmの腐食代を確保し、錆が発生しても必要な強度を確保する。

土壌汚染は大丈夫？

非常に強い毒性を持つ六価クロムを使用していないため、
土壌汚染の心配なし。

高強度の理由は？

柱状改良を行うことで、基礎杭の外径をアップし、
周面摩擦力・底面支持力を向上。

現状地盤の土性に合った配合をフレキシブルに行うことで、
安定した強度の実現。

小型のガラ・礫の撤去が不要の為、現状地盤を乱さずに基礎を形成し、
鋼管杭との接触を防ぐ。

廃土の心配は？

現状地盤を材料として改良体を形成するため、
掘削・廃土が無い。

凍結深度1.5mの対応

現状地盤の高さから 1.5m まで改良を行うため、
鋼管杭の上下に関わらず凍結深度への対応が可能。

安心を提供

抜取にて定点での写真撮影による工程管理と
セメント注入量・はね切り回数・改良長を全数機械管理の品質管理。

施工前に現状地盤とセメントの室内配合試験、
施工後に改良体のサンプリング試験の Wチェック で強度確認。

手間いらず

敷地境界測量と高低差測量の実施。